

1 提案書様式等

(1) 形式

- ① A4判片面印刷（原則として横置・横書）、2穴チューブファイル綴じとする。
- ② チューブファイル表紙及び1ページ目には、「那覇市地域防災計画改訂支援業務提案書」、「提出日」、「事業者名」を記載する。
- ③ 次ページは「目次」とし、その次ページから本題とすること。
- ④ 単色・カラーは自由、文字の大きさは10.5ポイント以上とするが、挿入図表等の表現上必要な場合等はその他のポイントの使用も可とする。

(2) 枚数

提案書は片面印刷の15ページ以内（表紙及び目次除く）とし、簡潔かつ明瞭に記述すること。提案書とは別の資料提出は認めない。

2 提案書構成及び記載事項

下記の表に基づき、項目の番号順に構成すること。

No	提案書構成	提案書記載事項
1	現状把握	能登半島地震など過去の大規模災害から得られた教訓、知見及び課題を踏まえ、現行の那覇市地域防災計画の現状から計画改訂の趣旨や配慮事項等を示すこと。
2	課題分析	那覇市の地域特性や社会状況、想定される災害等を踏まえ、防災体制の課題について分析し、本業務に反映させる具体的な提案を示すこと。
3	計画改訂方針	現時点で想定される計画改訂方針、概要、具体的な取り組み及び配慮事項等について、見易さ、理解のし易さに配慮してまとめ示すこと。 また、発災時における庁内各部局及び関係機関の初動対応が明確にわかるような構成手法を示すこと。
4	資料収集・整理	関係法令や上位計画、関係資料等について収集・整理し、その位置付けや関連性を示すこと。
5	ヒアリング調査	庁内関係部署及び防災会議構成機関からのヒアリング調査の方法について、調査内容や手法及び工程を具体的に示すこと。 また、今回の改訂に向けヒアリング対象とする関係機関とその選定理由を示すこと。
6	会議の運営補助	各会議体における開催回数・開催スケジュール・運営補助の手法を示すこと。
7	パブリックコメント	パブリックコメントの方法について、より幅広く意見等を収集できる効果的な手法や工程を具体的かつ実現性の高いもので示すこと。
8	工程管理	業務内容と業務量を踏まえた、実施体制、業務フロー及びスケジュールを示すこと。
9	独自提案	先進事例や業務実績を踏まえ、独創性や将来性のある本市にとって有効な独自提案があれば具体的に示すこと。また、改訂後においても継続的に実効性のある計画となるよう具体的な方法の提案があれば示すこと。